

『訳詞長短話』(第五卷)モウル語復元試論

長 島 弘

例言と補注

一、本稿は、東京通事魏五左衛門が寛政八年(一七九六)に著した『訳詞長短話』のうち専らモウル語に当てられた第五卷のモウル語の長・短話のペルシア語等への復元(比定)を試みたものである。

一、『訳詞長短話』自体の内容や体裁の詳細、またモウル語が今日のペルシア語に相当することなどについては私の別稿(一九八六)を参照されたい。

一、原本の各章の題目中の各項目は一個ないし二個の円の内外に縦書・横書混用の形で記されており、その順序は判然としない。今仮に私の判断によりその順序を定めた。ゴチックで表記したものが題目である。なお、この各章の題目は、第五卷冒頭の目次(長島一九八六・一五二参照)とは内容は同一であるが表現が異なっている。

一、原本の序文、目次、後書きと第一章に当たる「啓式参・貫目」の章は既に別稿でその概要を紹介したので、本稿では省略した。その次の「秤物・斤数」の章の数詞を伴った用例も省略した。第四章に当たる箇所の一ヶ月の日の

数え方の例も省略した。それ以外の諸章は、同一内容の長短話の重複を省みず、できるだけ忠実な再録を試みた。

一、原本には葉数が記入されていないが、本稿では、原本の表紙の次の葉を第一葉とし、表を a、裏を b とした。そして、たとえば第十葉表の部分を再録し終ったところで行末に「10 a」と注記した。

一、原本の各長短話は、中央に漢字で唐文（中国文）が書かれ、その左側にその発音と和訳が片仮名で、右側にモウル語訳が魏氏仮名字で脇記されているが、本稿では唐文の発音は省略し、和訳を平仮名で、モウル語訳を片仮名で転写した。その際、二種以上のモウル語訳がある場合、原文では二行以上にわたって横に並記されているが、本稿では一行で上下に続け、間に横断線を入れて二つ以上の訳があることを示すか、一方を（ ）内に記すかした。またモウル語訳を欠く場合は「欠」とした。モウル語訳の濁点、半濁点の区別は必ずしも判然としない。本稿では一応いづれかに判断しておいたが、この点はあまり厳密にとるべきではない。

一、唐音の漢字表記は、原本では字典にないような当て字風の独特な字が多用されているが、本稿の目的上それらの忠実な再録は必要かつ煩雑なので、できるだけ常用漢字に変えた。ただし、相当する常用漢字のない場合など必要と認められた場合には元の文字もしくは近似の文字を用いた。

一、モウル語の長短話をペルシア語等に比定しえた場合、その結果をモウル語の右側にローマナイズした。その際、ペルシア語辞典に所載の単語は（アラビア語、トルコ語、サンスクリット語、ヒンディー語等の起源のものも含めて）何ら注記しなかった。（H）と注記した単語は Steingass, F., *A Comprehensive Persian-English Dictionary* に未載のヒンディー語である。

一、原本では、各行が「一、」で始まるが、それは内容上必ずしも必要なものではなく煩雑なので本稿では省略し

一、別稿でも紹介したように、原本のモウル語訳の中には唐文や和訳と合致しないものがあり、また唐文と和訳の一致しないものもある。本稿では「々指摘しなかつたが、たとえば、「獺」を「ドロコハス」と訳している〔32 a〕のは、*durogh hast* (嘘である) のことと思われ、「獺」と「嘘」が混同まぎらされているようである。

一、原本のモウル語訳の中にはペルシア語やヒンディー語以外の言語、たとえばポルトガル語、マレイ語、カンナダ語、テルグ語起源かと思われる言語があり、さらには中国語や日本語ではないかと思われるものもある(それらといえどもモウル人から伝えられたものであればモウル語とみなしてかまわないのであるけれども)。

たとえば、「竹」のモウル訳「バンブ、ハン」〔31 a〕はカンナダ語の *banvu* あるいはマレイ語に起源するといふ説がある〔Yule, H, Burnell, A. C. & Crooke, W. 1903 : 54-55〕。また「狸」を「モングウス」と訳している〔32 a〕が、この語はテルグ語の *mangisu* 又は *mungisa* に由来する語であるとされる〔前掲書 : 596〕。魯土(ひどこ、かまと)を「ハッシー」としている〔23 b〕のは、日本語の「ハッパ」「ハッパ」ではなからうか。

一、「糊累布」と「華木綿」にあたるモウル語は「サランクリー」となっている〔35 b〕。本稿ではこれを *qalam-のりしきなまき* *kari* (一種の花模様なまきのキャリコ、又はチンツ) に比定したが、J・アーウィンによれば、「南インドの綿布の一種で、*patola* と同じく、織る前に経糸と緯糸が絞り染めされている」布の呼称として *sacergunte*, *sauergunte* と並んで *saurunchera* (サウランケラ) が挙げられている〔Irwin, J. & Schwartz, P. R. 1966 : 70〕。これどあからうか。しかし「ちんざ」自体の語源は一般にはこれとは別のものと考えられており、また製法から考えても「サランクリー」と「ちんざ」を同一視できるかさらに検討を要するであらう。

一、「馬田布」のモウル訳は「マダブウ」となっている〔35 b〕。「マダブ」については古賀十二郎氏の解説があり、

「マタフは元来印度語であらうと思ふ」とまとめている（一九二五：三二八）。他方、J・アーウィンは、*multfoon*, *matafon*, etc. について「西部インド産。マレイ海域向けに買われた粗末な市松模様のカヤリコ。主にキャンベいで織られたが、一六五〇年以降の言及はない」と述べている（Irwin, J. & Schwartz, P. R. 1966 : 68）。

『訳詞長短話』（第五卷）

言武参・貴目〔省略〕

秤物・斤数

秤数云	tarazu ダラズツ 兌々 はかり	金極天秤也	秤量	kapan カッパナ	物ヲ秤コト	ba-kaashidan スカアシン	カッテ一カッ 舐ノコト (舐)	做舐了	ベカアジ	你秤看 なされ	bukun ボコン	ハテル 也是
這是	in-chi インチー	ベガア・ワソニー・ポコン・ヒビン	看了	bihin	ヤキカシテ一ヤキカッ	yak ヤク	舐	兩舐	ドオカッ	半	nin ニムカッ	〔以下省略〕
		秤々の有了										〔以上7b〕

講価塊・売買・算談・金銀錢

売買云 うりかい	メルトオン sawda, sawi-bi-khar	ソラダアン 商云 あきなり	商人 あきなり	做了商 あきないする	売買好做了 うりかいあきないいたします
ウリー。――	qimat カイマー 講価云 おたんにくらいかいえ	qimat カイマー メグニ・メグニ 説講価云 おたんにくらいかいえ	qimat カイマー メグニ・メグニ カイマー 做講価 おたんにくらいかいえ	qimat bukun shidan ハチル 也是 [7 b]	qimat bukun shidan ハチル 也是 [7 b]
bi-khar bi-forush ベール ホフルウーメラサ	カルフサーマエラサ メフル	ダルト又はゲロン Riran カイマー	arzan アルジン マスマン 抵下 やす	ダルト又はゲロン hast アスン ハース 安抵貨価 やすいしうもの	ダルト又はゲロン hast アスン ハース 安抵貨価 やすいしうもの
買売 かう うる	ダルト一ゲロン 貴得 たかい	hanuz バンスウス 一ヌウース 不賣 まだ	na-bi-forush バイダー ハース 有有利 りある	ダルト又はゲロン hast アスン ハース 安抵貨価 やすいしうもの	ダルト又はゲロン hast アスン ハース 安抵貨価 やすいしうもの
不好 わるい	バク一フニー ソニン ヘカアシビ ビン 允々看 かけてみる	tayyar ヘカアシ タイシヤル 秤的完了 かけてしまいた	有々秤了	有秤的過了 かけてみる	有秤的過了 かけてみる
幾ヶ有幾 いくらあるか	chi gadar hast, chand(chandta) チヤンダ ハース チヤンダ ハース	カッター チヤンダ ハース 秤數幾ヶ なんきんあるか	カッター チヤンダ ハース 秤數幾ヶ なんきんあるか	カッター チヤンダ ハース 秤數幾ヶ なんきんあるか	カッター チヤンダ ハース 秤數幾ヶ なんきんあるか
		[7 b]		[7 b]	[7 b]
					[10 a]
					[10 a]

『訳詞長短話』 (第五卷) モウル語復元試論

カイヤマト。ナダラー。ナー 原吃虧了 もこそんする	カイマート。ダンカ。ミンジョート 原固一倍做得来 もとねいちはいになりませす	カイマート。ダンカ。ミンジョート 有タ利 りがござる	ドオ。スエ父はテン。ソネダー。カール。アトム。オマーダ 両三人商人呢来了 にさんにんあきんとかきました
ケール	同モダアル 壊了 そせわれ	モフタ 只 ただ	カイヤマト。ナダラー。ナシダー 没有儲錢原 もとねでもない
うもん	ホデー。カンサム 從文 せいもんする	ganj, ganja 塊 たはぢ	ヤキ。カンチー 一塊 いちひやう
ケール	bun-gah 河下庫 みなとのくら	ganj, ganja 塊 たはぢ	トウ。カンチー 二塊 にひやう
tayyar, hast タインナル。ハース 定了完了 さだまりた すんだ	adam 當頭人取了 ひとしちをとります	ganjin 保 うけ	カツサム 呈子 ねかいかけ
hiraw カ(又はコ)ロオー 當頭 しち	adem 當頭人取了 ひとしちをとります	ganjin 做圖書 いんはんする	同 照票 きしや
算盤 そのはん	hisab ハサブ。ホコン。サブンワンニ 算用 さんによう	ganjin 保 うけ	カツサム 呈子 ねかいかけ
hisab ハサブ。ホコン。サブンワンニ 算用 さんによう	na-ghalat ナゲハライト 不錯 ちかわぬ	ganjin 保 うけ	同 照票 きしや
hisab ハサブ。ホコン。サブンワンニ 算用 さんによう	na-ghalat ナゲハライト 不錯 ちかわぬ	ganjin 保 うけ	同 照票 きしや
man-chi niwishia bukun bibin マンチネウスマネー。ホコン。ビビン 我写的看々 わたくし かきてします	shum-ehi bu-khwan bukun シュムエチ。ホコー。ホコン 稱読々 こなたよめ	hisab ghalat ハサブ。ガハラニス(父はガラー) 算用錯差了 さんこうがちかいた	man bu-khwan bukun マンボウ。ホコン 我門念了 わしなをかよみます
na-midam ナマイダナ 不送々 やりませすまい	ホホホ 好々 よい	hisab ghalat ハサブ。ガハラニス(父はガラー) 算用錯差了 さんこうがちかいた	man bu-khwan bukun マンボウ。ホコン 我門念了 わしなをかよみます
na-midam ナマイダナ 不送々 やりませすまい	ホホホ 好々 よい	hisab ghalat ハサブ。ガハラニス(父はガラー) 算用錯差了 さんこうがちかいた	man bu-khwan bukun マンボウ。ホコン 我門念了 わしなをかよみます
na-midam ナマイダナ 不送々 やりませすまい	ホホホ 好々 よい	hisab ghalat ハサブ。ガハラニス(父はガラー) 算用錯差了 さんこうがちかいた	man bu-khwan bukun マンボウ。ホコン 我門念了 わしなをかよみます
na-midam ナマイダナ 不送々 やりませすまい	ホホホ 好々 よい	hisab ghalat ハサブ。ガハラニス(父はガラー) 算用錯差了 さんこうがちかいた	man bu-khwan bukun マンボウ。ホコン 我門念了 わしなをかよみます

amada bada hala
 ドオン。スエ(又はテン)。ソオダーガル。オマドフワーチ。ハラードム。メフルシヤ。ナーメフルシヤ
 兩三ヶ人商家來位來過做什麼
 さんにんあきんとたちをのをのたしか きてこさるか なにとするか
 mi-forush-idan
 マン。メエフル。シイタン。シヤントシイダン
 我売了
 わたくしうります
 [10 a] シイダ 做過
 する

hala
 ハラードダム。メフルシヤ。ナーメルンシイダン
 如今人送的若亦不送麼
 たたいま ひとやりてするか またやちぬかや
 mi-forest na mi-forest-shidan
 エキヤトヒシナリヤミー。サンス
 從前時來過
 まきはこよりきてをる
 shuma-chi
 スケチハトル。ヒヤリト
 你門必心的若々没有
 こなたたちせわして もしほ

agar
 アヤルボシホロニトマン。ン。ダシイダン。シ。ノ。ム
 man sawda-shidan
 另外望我得做壳買了
 かにのそみてなくんはわたくしうりかいいしたい
 shuma chand mi-forush-idan shuma awal migayid
 スケ。チオン。メフル。シイ。ム。ア。ン。ヤル(又はアノヤル)。メ。ゲイ
 你幾錢壳麼你先的説々講
 こなたいくらえんか こなたさきにえん えん
 メダハホローン
 本請説々
 をしけれ
 [11 b]

天地・日月・降物・拾貳月・昼夜・船場談話・四季節氣・東西南北

rajab, yak mah ラヂャブ「ヤキマ」 正ヶ月	shaban シアホン「ドオマー」 二ヶ月	ramazan ラベン「スエター(チンター)」 三ヶ月	shawwal シヤワン「チャルマー」 四ヶ月	zu'qada ゾルガルト「ナンチマー」 五ヶ月	ru'hija ルハイチ「セシマー」 六ヶ月	junada'i ヂャアブル 十一ヶ月
maharram マハルラム「ハプトマー」 七ヶ月	safar サホン「ハシマー」 八ヶ月	tabi'u'l-awwal ラビアル「アワアル」 九ヶ月	tabi'u'l-akhir ラビアル「アムル」 十ヶ月	junada'i-awal ヂャアブル「アワアル」 十一ヶ月		
-akhir アベル「ムオダスター」 一日	yak roz ヤクルウス 一日	do roz ドオルウス 二日	si スエ「テンダス」 卅日			

(以下省略) [13 a]

『訳詞長短話』(第五卷) モウル語復元試論

yak sai	ヤキサーレ	トオサーレ	チンサーレ	chand roz pesh az in	チャンド・ロズ。ゴミヤホーニ	chi	チャンク	peah az in	ペンヤホーニ	an roz	エキルウス	satat	エキサート	halat	ハラトダム	
春ヶ年	トオサーレ	二ヶ年	三ヶ年	幾ヶ日過	いつかあとに	(11 b)	什麼々	過了	せんに	先日	せんじつ	先時	さいせん	如今	たたいま	
昨日	オキチコロウス	一昨日	今日	明日	明後日	ハスハスダアルウス	日々日	一時	ヤキリイ	時	リイ	昼	ルオズ	夜	シャブ	
天理	星ノ	世界	東	西	南	北	ガアス	bahar	バハアル	春	payiz	バイズ	夏	秋	tabistan	ダビスタン
冬	khuda	afatab bar amedan	afatab	faro rafian	afatab	asmān	khud	bad	ab(H)pani	アブニスニース	アリス	atish	アライシ	garmā	ガルマ	
日月	afatab mah	khuda salamat	mubarakī	afatab	faro rafian	asmān	khud	bad	ab(H)pani	アブニスニース	アリス	atish	アライシ	garmā	ガルマ	
晴ル	ハロム	多謝	感激人輪之言語ニモ	云是也	晴天	asmān	khud	bad	ab(H)pani	アブニスニース	アリス	atish	アライシ	garmā	ガルマ	
暑	garm sarimā	サリマ	冷	サリマ	冷	サリマ	サリマ	サリマ	サリマ	サリマ	サリマ	サリマ	サリマ	サリマ	サリマ	
好天気	マンドラフ	暗天	サラマダラー	サラマ	manat	マンナ	galam-chi	dawat-chi	galam-chi	dawat-chi	galam-chi	dawat-chi	galam-chi	dawat-chi	galam-chi	
通話	通話	通話	通話	通話	通話	通話	通話	通話	通話	通話	通話	通話	通話	通話	通話	

[14 a]

[13 b]

in jahaz kudam mulk amad in jahaz kuja amad amada buhd chira-zhapan amada buhd chira
インジャハ・ハス・コト・ムルタ・オマヤナーナ インジャハ・ハスカガヤ・オマヤナーナ オマダブダム チェウマ・チン・オマワル・ウマム
這回船從那裡海來麼 這隻船那裡去了的來過 請來了麼 為什麼日本到了麼
このふねどこよりきたるか このかねどこにゆきてきたるか をいでなされたか なせになじにほんにきたるか なせに

amad amad shapan miforushidan amadan shuma-chi dawai-chi qalam-chi wilayat chi sal awal siyam
アマド・アマド シヤン・メフルシイタン・オマヤナーナ シマ・チイ・ドワイ・チイ・カラム・チイ
麼來 日本得賣買做來過 你老人家識事人家好々兒々 本國的幾回前年暹羅去的從暹
きたるか にほんにあきなにいきた しまえなまたちおやくにんち よちくたのむ ほんごくをなんんあなにしむにゆきま

amad siyam kudam mah kudam amad bukun kudam roz jahaz birun bukan agar darya jahaz-i bigana bibin
アマド・オマド・シヤルノオ・ロドム・ブクン・アマド・シヤルノオ・チヤハス・トオ・ハシヤン
羅幾月幾日船開出的來過了 海上的希罕妙事怪事情船不見麼都是報々老矣講々
してしやむろよりなんくわつなんちにあわたしてまいりました かいしやうでめつらしきあやうなるかわりたふねなどわめぬかすへてしやうじきにもうしあげ

you are you sma-chi harangi you are harangi shuma-chi farangi wilayat shuma amada bad pani sal sal nishasta zaban yad girifa, libas-i musulman rashida bashi
オウ・イ・オウ スマ・チイ・ハラングイー・オウヤアトスマア・オマド・フウド・フウド・パンチナル・ブトサルネシヤス・ダアソソホン・アツケレフ
你家人南蠻人麼ハルシイヤノ國的到去了的過幾多年的留在的ハルシイヤ話学々のハルシイヤ人ノ衣將穿得ハルシヤ人
そのぼうだぢねなんはんしんが くにあまのりてなんねんもとしむさしくとうりうして くせをならんて しんのいしやうをあげ

ニ仮得是到了來麼 [16 a を参照] shuma-chi farangi wilayat shuma amada bad pani sal sal nishasta zaban yad girifa, libas-i musulman rashida bashi
ニ仮得是到了來麼 [16 a を参照] シマ・チイ・ハラングイー・オウヤアトスマア・オマド・フウド・フウド・パンチナル・ブトサルネシヤス・ダアソソホン・アツケレフ
你家人南蠻人麼ハルシイヤノ國的到去了的過幾多年留在的ハルシイヤノ話学做的ハルシイヤ人呢衣將穿得ハルシイヤ人呢仮
こなたちはなんはんしんが くにあまのりてなんねんもとうりうして くせをならんて しんのいしやうをきて しんににせ

得是來不來麼 farangi mi-dand mi-dan mi-dan khayr mi-dan na-mi-dan
ハラングイー ナバシタクリイト・モウルギアルハース ミ・ダンド・ミ・ダンド・ミ・ダンド ハイラル・スミイタ
得是來不來麼 若々既然這樣麼目下正報報々 是々 是々 好樣做主意的金片銀子米
てわこぬかや もしそれならはそのむきにたたいましやうじきにもうせよ 是々 是々 よいやうにあんへつをうけてきん等

アイザアトミコナム。アギヤル。ナグイー。パンチルウスデカラザヘル。ミシヨワアト。トラバマル。 [17 b を参照]
アイザアトミコナム。アギヤル。ナグイー。パンチルウスデカラザヘル。ミシヨワアト。トラバマル。 肯不肯麼
錢吩咐送給了你門沒事情的國到回去了 へんいせんををせつけくたされる。みなみなふじでくええかす かくんかかてんないかや

アイザアトミコナム。アギヤル。ナグイー。パンチルウスデカラザヘル。ミシヨワアト。トラバマル。 [17 b を参照]
錢吩咐送給了你門沒事情的國到回去了 へんいせんををせつけくたされる。みなみなふじでくええかす かくんかかてんないかや

mi-dan mi-dan khub khub
直々曉得々々
いかにもなやうでござる

チャンシー・ホルギアル
本報々々了
ほんのこともうします

khub khub
ホウホウタバン
好々児々
いづれよろしくたのみます々

[14 b]

[16 a]

隣国云

wilayat
オラヤート
本國
ほんこく

ハルシイヤ国ト云
ムルタ

milik
ムルタ

kyān
ハルシイヤキヤダン・オマドシマボロン
果然ハルシイヤ人有了
いよいよ しんじゆある

kyān, kas, adam
キヤダン・カアス・アダム
人ト云コト

チフヤシマホロン・シマボ
正是有
まようでござる

コン a
[16 a]

カヌサプチャン・サプチャン
オラヤート
里
さと

shahr
シヤル
京師
みやこ

shahr
シヤル
京上
みやこ

dih
ディー
刃処
かたえんしゅ、いなか

dih-chi
ディーチイ
舍仔
いなかもの

dih-kiyan
ディーキヤン
鄉村人
いなかのひと

カイターキヤダン・サホウキヤタ
日本人

shapan adam
マンネラ
manila
マニラ

アメントウス・マカア
アマカワ

バダニイ
ダニ

〔以下「ダニ」についての解説があるが、省略〕

siyam
セムロウ
暹羅
しやむ

「欠」
広南
略ス
唐人ト云コト
そうしん

chini
チイナ
唐家幾ケ人來過麼
你家幾ケ人來過麼
そのほうたちはなんにんつれにてきたか

chand kas
チャンカス(又はチャンカス)オター
幾ケ人來過麼
なんにんきたか

man-chi
マンチイー
我門是五十六ケ人(六十七)

ダスハブトカース(ハシダスノウカース)
ケ人、八十九ケ人)來過
amad
マード

マイン・ワンソニー
請做的
なされませ

マインホコン・ワンシマホコン
請做的有了
なされてござる

メニウザム・ネニウザム
文字写
もんじをか

メウダム
写了
かいた

チャンネニウザム
什麼写
なにをか

ミイター
智道
ミイター

ナミイ
不曉
しりぬ

in chiz
インチイジ
這ケ名説什麼
人物ノ名也
これかなはなにとゆうか

in chi nām dārad
インチイナムダラド
初サト
はしめて

ダサト
初サト
はしめて

ダサトオマー
初來
はしめてきた

スマチー
你家什麼話
こなただちはなにとゆうか

uftad
オフトアフト
落去了
をりました

purshidan
プシイダ
尋
たずねる(たずねる?)

purshidan panhan
 プシイタ パンパン
 看憤々 蔵
 みづくる かくす
 よ好
 [10 a]
 不好
 [10 a]
 不放
 的
 日本留
 有得
 退屈
 了
 日本
 留
 有得
 退屈
 了
 カイター(又はサホウ)ムキームモキーム
 日本留
 有得
 退屈
 了
 にほんにをりあいたたいくつ

lanha hast
 アナハニス
 説々講
 [10 a]
 講過了
 [10 a]
 好
 [10 a]
 不好
 [10 a]
 不放
 的
 日本留
 有得
 退屈
 了
 カイター(又はサホウ)ムキームモキーム
 日本留
 有得
 退屈
 了
 にほんにをりあいたたいくつ

asliha
 アスラー
 器械
 南蛮人器械門
 是
 講
 來
 了
 麼
 なんはんしんのぶまくなとはもちきたあめな
 mana' dukun
 マナホクン
 法度有々
 はつこてあるぞ
 [17 a]

but-i-farangi na awarda bashi
 アウト。フランキー。ナホルダバシイ
 仏南蛮持來了麼
 ナンハンノホトケモチハタラヌカ
 nadaram, na-er-
 ナダラー。ナオールガース
 沒得來
 もちてこぬ
 ar-
 ニースオル
 有得來
 もちてきた
 farangi
 フランギ
 南蛮ト云
 なんはん
 オールダーニースホクン
 但得來
 もちてきた
 [10 a]

fanangi dashia bashi hala rasi
 フンソソニソー
 不好
 [10 a]
 有々
 nadar-
 ナダラー。カアヌ
 沒得來
 なし
 tasbih
 タスビ
 珠数
 jiyar hast
 ヒジヤルハス
 ヒシヤルハス
 有得來
 もちてきた
 in chi
 インチニース
 有多少麼
 いくはかりあるか
 andaki hast
 アンダキハニス
 少些有了
 しょうしやうある
 kaghar-i
 カカス。ハラ
 南蛮人之
 なんはんしん

izhar(?)
 正經說々
 若又不講
 藏的
 後過得
 智道
 有是
 麼
 你門
 是不
 必講
 船沒
 官事
 情不
 免々
 mikunam agar nag'yi panji roz digar saped mishawad tura mard
 ミクナム。アガ。ナグ。イ。パンジ。ロズ。ディガ。サペド。ミシワド。トゥラ。マード。
 正經說々
 若又不講
 藏的
 後過得
 智道
 有是
 麼
 你門
 是不
 必講
 船沒
 官事
 情不
 免々

ihaz
 イス。ハマアザル。ハハント
 正是麼
 なるほどかや
 [16 a]
 直々有
 いかにもさよう
 mi-dandi
 ミイダニース
 智道了
 しりましてをる
 [17 b]

なるはもうすにをよはずふねもりのあげもつすことなり
 なるほどかや
 [16 a]
 直々有
 いかにもさよう
 mi-dandi
 ミイダニース
 智道了
 しりましてをる
 [17 b]

『訳詞長短話』（第五卷）モウル語復元試論

mandā hast	bin-nishin	bin-nishin	ista-dar, istadan	ista	zud bi-ār	sadā bukun	sadā bukun	darāz
モンダムハース	ピンシン	ピンシン	イスタダル	イスタ	ズドビアー	サダブクン	サダブクン	ダラズ
勞得緊	歌一歌	居坐	立起得	立	早出	做甚音	做声砂	長
くたひれた	やすむ	いとれ	たちてをれ	た	はやくたせ	をこのする	こえのする	なから
アルサー一アスサ々	アルサオマー一アスサオマー	sangin hast	重々得	早来	はやくこい	做甚音	做声砂	長
しつかに、ようら々々	しつかにこい	をむたい	をむたい	はやくこい	はやくこい	をこのする	こえのする	なから
静々	静采	重々得	をむたい	早来	はやくこい	をこのする	こえのする	なから
katāghī, kangāghī, shāna	(H)katarni	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ
カターギヒ、カンガギヒ、シャナ	カタタリ	鏡	鏡	桶	担	小	大	大
カターギヒ	カタタリ	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ
カターギヒ	カタタリ	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ	アイナ
zānā'	fatīda	不	bedal	bedal bukun	pas bi-dih	man-chi girifta ast	shamā hast	na-shāndan
ズナー	バイダー	便得	替	換把	回	我的取了	聴々了	不聽
ズナー	バイダー	便得	替	換把	回	我的取了	聴々了	不聽
短	便得	便得	替	換把	回	我的取了	聴々了	不聽
みぢかい	かつてな	かつてな	かえさる	かえてやる	かえす	わしかとりました	ききました	きかぬ
chānd hast	bi-shumūr bibin	badal	bedal bukun	pas bi-dih	man-chi girifta ast	shamā hast	na-shāndan	chānd
チャンダハース	ビシムールビビン	バダール	バダールブクン	パスビディ	マンチギリフトアスト	シャマハースト	ナシャナン	チャンド
幾ヶ数麼点數看々々	幾ヶ数麼点數看々々	バダール	バダールブクン	パスビディ	マンチギリフトアスト	シャマハースト	ナシャナン	チャンド
いくかすかかぞえあらためてみよ	いくかすかかぞえあらためてみよ	バダール	バダールブクン	パスビディ	マンチギリフトアスト	シャマハースト	ナシャナン	チャンド
na-giriftan	bi-dih	shumā-chi bi-dihād	na-dādan	na-dādan	shamā hast	na-shāndan	na-shāndan	chānd
ナーゲリフトン	バイディ	シューマチビディアド	ナダダン	ナダダン	シャマハースト	ナシャナン	ナシャナン	チャンド
不取々	交把	你的交把	不交	不交	聴々了	不聽	不聽	チャンド
とらぬ	はたせ、やれ	あなたの交把	つかはさぬ、やらぬ	つかはさぬ、やらぬ	ききました	きかぬ	きかぬ	チャンド
bi-bin hast	na-bibin	shumā-chi bi-dihād	na-dādan	na-dādan	shamā hast	na-shāndan	na-shāndan	chānd
ビビンハースト	ナビビン	シューマチビディアド	ナダダン	ナダダン	シャマハースト	ナシャナン	ナシャナン	チャンド
看過了	不看看々	あなたの交把	不交	不交	聴々了	不聽	不聽	チャンド
みました	みぬ々	あなたの交把	つかはさぬ、やらぬ	つかはさぬ、やらぬ	ききました	きかぬ	きかぬ	チャンド
kam hast	ziyāda hast	shumā-chi bi-dihād	na-dādan	na-dādan	shamā hast	na-shāndan	na-shāndan	chānd
カムハースト	ズイヤダハースト	シューマチビディアド	ナダダン	ナダダン	シャマハースト	ナシャナン	ナシャナン	チャンド
不少用	多々満	あなたの交把	不交	不交	聴々了	不聽	不聽	チャンド
たらん	あまる	あなたの交把	つかはさぬ、やらぬ	つかはさぬ、やらぬ	ききました	きかぬ	きかぬ	チャンド
kam hast	ziyāda hast	shumā-chi bi-dihād	na-dādan	na-dādan	shamā hast	na-shāndan	na-shāndan	chānd
カムハースト	ズイヤダハースト	シューマチビディアド	ナダダン	ナダダン	シャマハースト	ナシャナン	ナシャナン	チャンド
不少用	多々満	あなたの交把	不交	不交	聴々了	不聽	不聽	チャンド
たらん	あまる	あなたの交把	つかはさぬ、やらぬ	つかはさぬ、やらぬ	ききました	きかぬ	きかぬ	チャンド
kam hast	ziyāda hast	shumā-chi bi-dihād	na-dādan	na-dādan	shamā hast	na-shāndan	na-shāndan	chānd
カムハースト	ズイヤダハースト	シューマチビディアド	ナダダン	ナダダン	シャマハースト	ナシャナン	ナシャナン	チャンド
不少用	多々満	あなたの交把	不交	不交	聴々了	不聽	不聽	チャンド
たらん	あまる	あなたの交把	つかはさぬ、やらぬ	つかはさぬ、やらぬ	ききました	きかぬ	きかぬ	チャンド

jang, kardan チャンン(ク)又はシイ 做械陳 いくべすする	jang jama チャンンジャマー 軍衣將 いくまじしやう	kuiah khud コラコトローコラト 械鎧 かたて ぶらり	zara, zirih チエラ 銷衣 きごみ	asp, asb アヌムアヌフ 馬 うま	khud asb コニアヌフ 好馬 しやま
zin ジン 鞍 くち	rikab レカアブ 鎧踏 あかみ	ligam ロコム 轡 くつわ	khanjar ハンチャナル 劍 けん	shamsheer シャムシヤ 刀 かたな	shamsheer シャムシヤ 小刀 わきさし
bazi, atish-bar, atish-bazi バズィーアチシバズィー 火銃 ひや	atish-bazi アチシバズィー 華火銃 はなひや	atish-bazi アチシバズィー 石火炮 いしひや	tufang(?), top bazi トゥファン(ク)トフバズィー 火銃 ひや	fang ファン 放砲了 てっぽううつ	bazi バズィー 火銃 てっぽううつ
pon-dom ポンドム 放々了 うつうちた	top トフ 打做了 うちた	ドフ又はドム(ワソニス) 放放了 うちなまれ	bi-zan ビゼンタ 切 きる	[20 a]	bi-sen-shitan ビセンシタン 打断了 うちきりた
左 チャブ	[20 a]	nishan ニシアン 旗 はた	kaman カモム 弓 ゆみ	tir テイル 矢 や	ichi, ilchi イチイ 使者 つかい
右 ラス	nishan ニシアン 旗 はた	nishan ニシアン 旗印 はたしるし	chatur チャテリ 涼傘 かさほこ	harwal ハルハール 先陳 せんじん	minnat bukun, mu'af bukun ミンナトブクン 做話事 わひごことする
lashkar(?) ラスカール 向敵 てあ	ラズカール 敵討 かたきうつ	ガルニ 打断 うまほたす	ラスカール 追討 うごて	minnat, mu'af ミンナト 主意 りやうけん	[17 b]
メナートホコーマーフホコン メナートホコーマーフホコン 几々忍耐 かんにんしてくたされ	メナートホコーマーフホコン メナートホコーマーフホコン 几々忍耐 かんにんしてくたされ	メナートホコーマーフホコン メナートホコーマーフホコン 几々忍耐 かんにんしてくたされ	メナートホコーマーフホコン メナートホコーマーフホコン 几々忍耐 かんにんしてくたされ	メナートホコーマーフホコン メナートホコーマーフホコン 几々忍耐 かんにんしてくたされ	メナートホコーマーフホコン メナートホコーマーフホコン 几々忍耐 かんにんしてくたされ
kushan, sar					

[27 b]

sar, gardan [19 a]

sar kār bukun 'amr sar lāda lāni bukun sar kār bukun 'amr sar lāda lāni bukun

murdan zinda, zindagi kardan murdan zinda, zindagi kardan

打ンヤ杯 [27 b]

gurkhan gurkhan

オテヤホローニコロフホロー 逃落にげた

ガダイ 助命 たすかりた

ガダイ 生扶 たすくる たすかる

migu, shanid migu, shanid

[22 b]

Zahr Zahr

Zahr Zahr

Bikhw-

urda, murdan urda, murdan

モルタ 山海云

kth, darya kth, darya

jazirat jazirat

河河

zhapan zhapan

[16 b]

bandar bun-gah

[11 a]

バンダルバンケザルーバンダルアカハツテ 請庫 しんちー

バンがサルーアカハツテ 庫 くら

zhapan bandar zhapan bandar

[16 b]

jahaz jahaz

[14 b]

nishan bukun nishan bukun

naw(?) ウシヤハヌ

[22 b]

杉板 杉板

jang, jahaz jang, jahaz

[27 b]

放打了

[27 b]

nishan bukun nishan bukun

[27 b]

khaf, nishan khaf, nishan

[28 a]

nakhuda nakhuda

karrani karrani

karrani karrani

sarhang sarhang

mu'allim mu'allim

khafasi khafasi

khafasi khafasi

ハートニシヨシ 柳条旗

[28 a]

船主 船主

財副 財副

拾管 拾管

総代 総代

隊長 隊長

巨頭 巨頭

兄弟 兄弟

シマカクシヤ 島旗

[28 a]

船索 船索

jahaz resman, reshman jahaz resman, reshman

麻繩 麻繩

船壊了 船壊了

風破了 風破了

船吹破 船吹破

船断蔵 船断蔵

shikasia ast 2wzār, sutun
 了 頭桅
 んぞう、みかりした ははしち
 resman langar karda nakarda(?)
 抛錠 不抛錠
 langar dih bukun
 抛錠 正是有
 langar na langar jahaz bala khana
 抛錠 不抛錠 船楼上
 dar-bin
 千里鏡

langar langar karda nakarda(?)
 抛錠 不抛錠
 langar dih bukun
 抛錠 正是有
 na langar jahaz bala khana
 抛錠 不抛錠 船楼上
 langar langar
 抛錠 索

Chand roz jahaz birtan bukun
 幾月幾日船開出来麼
 zakar(?)
 中保錢 水上杯
 分別各錢
 shast o panj roz mishawad
 船開出来是差不多六十五日有丁

hanchi. hohon. miyowat
 ザアガ(一)ザアガマス
 ハテルザアガマス
 分別各錢
 [29 a]

山林名・魚鳥・串類・畜虫・喰養・吃味

山 夕タウ
 やま 川ナデ
 河ナデ
 同バンダ
 江セジ
 島ゼツラ
 海テルヤ
 橋pul
 盛ギヤル
 山jangal(?)

jangal kuh shajar(?)
 盛山 木
 木山
 木根
 rishah bambu, (Kannada) banwu
 竹子
 竹子
 竹子
 竹節

馬田布 はだ	チャンバハトボロン 幾色有了 ないろてびある	[35 a]	サプス あそ	[20 a]	ジイーバンマ き	[20 a]	カラミンロロ あか	[20 a]	スビッ しろ	[20 a]	ジャバハト 黒色 くろいろ	[20 a]
大套絹 テウハアブ	kalan pahna, kalan pahna parcha 一キヤロンハヌハ一キヤロンハヌハ。ハルチャム		キヤロンハヌハ。ハルチャム 大拡布		アブリシオン abrisshami abrisshami zar abrisshami		abrisshami abrisshami abrisshami 銀モウル		ザルヒリシオン ザルモウル		galam- サランク 糊果布 のりつき	
kar(?) リー	サランクリー 華木綿 天紙織 ひろうど	makmal	sher makmal 虎天紙織 とらひろうど	namad	ナアト 麩条 もろせん	sher namad シメルナマル 虎麩条 とらもろせん	シイルナマート 麩毛 たんつう	nakh(?) ナハル一チャキヤル 節紙 つきをり	ナハル 紬 つむぎ			
resham, risham 糸	ナハール 兜羅綿 とろめん	同	ヘルハトアン	モウル 小絹 ほっきん	abrisshami アブリシオン							
parcha abrisshami デルハルチャ。アブリシオン 金織厚絹 きんをりあつきん	[11 a]		ザル。ハルチャ。アブリ一 銀織厚絹 きんをりあつきん	[11 a]	saled resham スピツレナム 白糸 しろいと	デルナアデル 金藏金 きんりうきん	ザル 銀 ぎん	[11 a]	モウル 鉄 はかね	モウル 鐵 てつ	モルラー 真鍮 しんどう	
シロメー 鈴 すず	surb シロメー 銅 なまり	(H)Tahba タハバ	ビイドロ	ビイロン びいどろ	ソラビン びん	カタン一 キヤドンギー 大鉢 おほはち	カタン一 キヤドンギー 小鉢 こはち	ガンドンキリー 小鉢 こはち	ギライ 皿 さら	[23 b]		
タンキリー 猪口 ちやく	bushqab, qab ホウシカーブ一カアブ 倉普利 とんかり		ビヤル一 磁器 やきもの	[23 b]	サアビヤル 茶碗 ちやはん	同 飯合 はんたい	ハンキイー 箸 はし			[36 a]		
ビエロビエー 玻璃鏡 ひいどろかかみ	bibin トウルビン 千里鏡 とらめかね	[28 b]	shakkar キヤル 糖 さとう	[33 b]	safed shakkar シムンキヤル 白糖 しろあとう	シヤ一 黒 くろ	[20 a]	ベン 氷 かうり	(H)kachhu'a カチカラ一 玳瑁 たいまい	木	キ木 チャル	[31 a]

木根 木のね	チャルリシー	[31 a]
木葉 きのほ	チャルハルグ	[31 a]
木条枝 きのえた	far'	[31 a]
木味 きのみ	シャルドム	[31 a]
木節 きのふし	チャルグラ	[31 a]
森山 もりやま	kuh, jangal	[31 a]
薪 たきまき	ウツキリー	[31 a]
植木 うゑき	ダラク	[31 a]
花 はな	gul	[25 a]
竹 たけ	バアン	[31 a]
柴 しば	カラミサンダ	[31 a]
鳥檀 くたん	シヤサンダ	[31 a]
漆 しやく	ラク	[36 b]
香 におい	ホライ	[36 b]
白檀 びやくたん	スビサンダ	[36 b]
肉桂 にくけい	ダルチニ	[36 b]
珠黄 しじゆわう	カクニ	[36 b]
丁香 ちやうじやう	ガランフル	[36 b]
核桃 くわんたう	ギルダ	[36 b]
酢桃 すお	ゴウジャ	[36 b]
菊花 きくけのばな	gul	[37 a]
根椿 こんしん	タラフ	[37 a]
疏黄 しゆわう	クダル	[37 a]
明攀 めいぱん	サマン	[37 a]

参考文献

- Aryanpur-Kashani, A. & Aryanpur-Kashani, M.
 1978 *The Concise English Persian Dictionary, Tehran*, Second Edition 1978, Eighth Impression 1984.
 Irwin, J. & Schwartz, P. R.
 1966 *Indo European Textile History*, Ahmadabad.
 古賀十一郎

- 一九二五 「長崎方言集覽」、『長崎市史風俗編下』、長崎。
- Steingass, F.
 1892 *A Comprehensive Persian-English Dictionary*, London, First Edition 1892, Fifth Impression 1963.
- 長崎 弘
 一九八六 「訳詞長短語】のモウル語について——近世日本におけるインド認識の側面——」、『長崎県立国際経済大学論集』
 一九一四。
- Haim, S.
 1975 *The One-Volume Persian-English Dictionary*, Teheran.
- Haq, A.
 ? *The Standard English-Urdu Dictionary*, Delhi.
- Platts, J. T.
 1884 *A Dictionary of Urdu, Classical Hindi, and English*, From Sheets of the Fifth (1930) Impression,
 1960, 1965, London.
- Yule, H., Burnell, A. C. & Crooke, W.
 1903 *Hobson-Jobson, A Glossary of Colloquial Anglo-Indian Words and Phrases, and of Kindred Terms, Etymological, Historical, Geographical and Discursive*, New Edition, Originally Published 1903, Second
 Edition 1968, Delhi.